

第58回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第58回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

現況のDI値は、建設業と卸売・小売業を除く各業種は回復傾向にあるものの、全体としては依然として低水準にとどまっており、物価高騰の影響が見られる。一方、農業は特に回復が見られる。
今後10月から12月にかけての見通しについては、物価高騰の影響が続く中、最低賃金の上昇により、人件費による経営圧迫が懸念される。一方、飲食業では秋の観光シーズンに入ることから、集客による経済効果への期待が高まっている。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】 令和7年9月調査

	前回調査		今回調査			
	A 現況 (R7.6)	見通し (R7.7-9)	調査数	B 現況 (R7. 9)	(B-A)	見通し (R7. 10-12)
					前回現況 との対比	
総 合	-43	-19	68	-35	8	-7
農業	-25	0	4	50	75	0
建設業	-30	-60	8	-38	-8	-25
製造業	-30	-10	7	-14	16	-29
卸売・小売業	-52	-14	17	-71	-19	-12
観光業	-70	-20	9	-44	26	0
飲食業	-57	14	6	-33	24	33
サービス業	-35	-25	17	-24	11	-6

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査方法 オンラインアンケート、FAX、電話等による調査
- 調査内容 (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
(2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
「DI」(Diffusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。